

一般社団法人日本キャリアデザイン学会

2023年度社員総会

日 時 2023年9月2日(土) 12:10~12:40(予定)

会 場 九州産業大学及びWeb会議

議 長 玄田 有史 理事長・会長

司 会 荻野 勝彦 専務理事

一次第一

1. 開会の辞(会長)

2. 議事録署名人選出

3. 事業報告

- ・ 代議員選出規約、役員予定者選出規約、役職に関する規定改定の件(資料1)
- ・ 2022年度活動報告の件(資料2)
- ・ 2022年度事業報告の件(資料3)
- ・ 研究誌に関する変更の件(資料4)
- ・ 学会所在地ならびに事務局の変更の件(資料5)
- ・ その他(奨励研究の募集一旦停止等)

4. 議決事項

第1号議案	2022年度決算承認の件(資料6)
第2号議案	役員予定者選挙結果の件(資料7)
第3号議案	定款改定の件(資料8)
第4号議案	会費規程改定の件(資料9)

5. 20周年事業について(資料10)

6. 2024年度研究大会・総会の件(資料11)

7. 閉会の辞（会長）

＜休憩（3分程度）＞

※新理事・新監事はブレイクアウトルームに異動、理事会を開催

【社員総会参加者へのご報告】

1. 2023-24年度会長・副会長・専務理事・事務局長・事務局次長等に関する報告
2. 新会長挨拶

終了

《資料 1》 代議員選出規約、役員予定者選出規約、役職に関する規定改定の件

改定趣旨

- 役員及び代議員の選出に係る学会事務の効率化を図る。
このために、①代議員候補者数の人数についての規定を合理的なものとするともに、②会員情報として有効な電子メールアドレスが登録されていることを選挙権・被選挙権の要件とすること、③選挙管理委員会委員および役員予定者候補者推薦委員会委員の選出にあたっての規約を整理する。
(2023 年 1 月 29 日理事会承認)

1 一般社団法人日本キャリアデザイン学会代議員選出規約

新	旧
(選挙権・被選挙権) 第 6 条 代議員選挙において、選挙権・被選挙権を有する会員は、選挙年度の代議員選挙公示の 1 か月前時点において、連続して 2 年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員 <u>であって、会員情報として有効な電子メールアドレスが登録されている者とする。</u> (代議員候補者) 第 7 条 選挙管理委員は、代議員候補者を、選挙公示の 1 か月前時点において連続して 2 年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員 <u>であって、会員情報として有効な電子メールアドレスが登録されている者の中</u> から、無作為抽出によって選出する。ただし、現代議員、役員候補者、選挙管理委員については、無作為抽出の対象としない。 2 代議員候補者数は、<u>80 名を下回らないこと</u>とする。 (略)	(選挙権・被選挙権) 第 6 条 代議員選挙において、選挙権・被選挙権を有する会員は、選挙年度の代議員選挙公示の 1 か月前時点において、連続して 2 年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員とする。 (代議員候補者) 第 7 条 選挙管理委員は、代議員候補者を、選挙公示の 1 か月前時点において連続して 2 年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員から、無作為抽出によって選出する。ただし、現代議員、役員候補者、選挙管理委員については、無作為抽出の対象としない。 2 代議員候補者数は、80 名以上 100 名以下とする。 (略)

2 一般社団法人日本キャリアデザイン学会役員予定者選出規約

新	旧
(選挙権・被選挙権) 第7条 役員予定者選挙において選挙権を有する会員は、選挙年度の役員予定者選挙公示の1か月前時点において、連続して2年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員<u>であって、会員情報として有効な電子メールアドレスが登録されている者</u>とする。 2 役員予定者選挙において被選挙権を有する会員は、選挙年度の理事選挙公示の1か月前時点において、連続して5年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員<u>であって、会員情報として有効な電子メールアドレスが登録されている者</u>とする。 ただし、顕著な業績を有するなど、役員予定者候補者推薦委員会又は理事会が特に認める場合は、在籍期間が5年間に満たない場合であっても被選挙権を認めることができる。	(選挙権・被選挙権) 第7条 役員予定者選挙において選挙権を有する会員は、選挙年度の役員予定者選挙公示の1か月前時点において、連続して2年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員とする。 2 役員予定者選挙において被選挙権を有する会員は、選挙年度の理事選挙公示の1か月前時点において、連続して5年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員とする。ただし、顕著な業績を有するなど、役員予定者候補者推薦委員会又は理事会が特に認める場合は、在籍期間が5年間に満たない場合であっても被選挙権を認めることができる。

3 一般社団法人日本キャリアデザイン学会役員予定者候補者推薦委員会規則

新	旧
(推薦委員会及び推薦委員) 第2条 理事会は、原則として現役員任期が終了する社員総会の半年前までに、<u>委嘱の時点において</u>、特別会員又は役員予定者候補者に係る被選挙権を有する正会員の中から推薦委員を委嘱する。 (推薦委員会の職務) 第4条 (略) 3 推薦委員会は、役員候補者の選出にあたって、以下のことに留意する。 一 役員候補者は、<u>委嘱の時点において</u>、連続して5年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員<u>であって、会員情報として有効な電子メールアドレスが登録されている者</u>でなければならないこと 二 役員候補者の研究分野や所属機関のバランスのほか、学識経験、組織運営経験、法律の専門知識、会計の専門知識等の観点についても考慮する必要があること	(推薦委員会及び推薦委員) 第2条 理事会は、原則として現役員任期が終了する社員総会の半年前までに、特別会員又は役員予定者候補者に係る被選挙権を有する正会員の中から推薦委員を委嘱する。 (推薦委員会の職務) 第4条 (略) 3 推薦委員会は、役員候補者の選出にあたって、以下のことに留意する。 一 役員候補者は、選挙年度の理事選挙公示の1か月前時点において、連続して5年間以上在籍し、会費の全額を納入済の正会員でなければならないこと 二 役員候補者の研究分野や所属機関のバランスのほか、学識経験、組織運営経験、法律の専門知識、会計の専門知識等の観点についても考慮する必要があること

改訂趣旨

- ・実態に即した規定とするため。なお、社員総会参加者には決定後すみやかに報告する。
(2023 年 7 月 30 日理事会承認)

4 一般社団法人日本キャリアデザイン学会役職に関する規定

新	旧
(副会長の設置) 第4条 (略) 3 会長は、副会長を選出したときは、遅滞なく 会員 に報告しなければならない。	(副会長の設置) 第4条 (略) 3 会長は、副会長を選出したときは、遅滞なく 社員総会 に報告しなければならない。

改訂趣旨

- ・実態に即した規約とするため。なお、社員総会参加者には決定後すみやかに報告する。
(2023 年 8 月 23 日理事会承認)

5 一般社団法人日本キャリアデザイン学会役職予定者選出規約

新	旧
(役員選任結果の公表等) 第18条 役員予定者選挙の選挙結果は、社員総会に報告され、その承認を受けなければならない。 2 あわせて、理事長予定者及び専務理事予定者についても、 会員 に報告され、決定する。	(役員選任結果の公表等) 第18条 役員予定者選挙の選挙結果は、社員総会に報告され、その承認を受けなければならない。 2 あわせて、理事長予定者及び専務理事予定者についても、 社員総会 に報告され、決定する。

※ 改定にあたっては、付則に、改定日及び一部改定した旨を記載する。

《資料 2》 活動日誌（2022 年 8 月～2023 年 7 月）

行事等	日付	主な内容	場所
ニュースレター	2022 年 8 月 15 日（月）	キャリアデザイン・ニュースレター第 215 号	
マガジン	2022 年 8 月 20 日（土）	キャリアデザインマガジン第 161 号	
キャリアデザインライブ	2022 年 8 月 22 日（月）	2022 年第 7 回キャリアデザインライブ！ テーマ：キャリアから日本を復活させるプロデュース戦略 登壇者： 川原卓巳 (Takumi Inc. founder / KonMari Media Inc. プロデューサ) 聞き手： 稲垣久美子（東京成徳大学、当学会研究会企画委員会委員）	オンライン
理事会	2022 年 8 月 28 日（日）	2022 年度第 1 回理事会 －執筆要領改正の件、2021 年度決算資料の件、第 19 回研究会の件他	産業能率大学及び Web 会議
ニュースレター	2022 年 9 月 1 日（木）	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
研究大会	2022 年 9 月 10 日（土）11 日（日）	第 18 回研究大会 テーマ：時空を超えた自律的な働き方に向けた挑戦 《会場校企画》 時空を超えた学びの可能性 ―大正大学での実践例― 司会：大橋重子（大正大学地域創生学部地域創生学科 准教授） 登壇者： 高橋秀裕（大正大学学長） 鈴江省吾（大正大学地域構想研究所 阿南支局長） 天野浩史（大正大学地域構想研究所 藤枝支局） 大正大学 地域創生学部地域創生学科 大橋ゼミナール 3 年生 コメンテーター；	オンライン

		玄田有史（東京大学社会科学研究所所長 比較現代経済部門 教授、当学会理事長） 《特別講演およびシンポジウム》 時空を超えた自律的な働き方を促すための挑戦 司会・コーディネーター： 石山 恒貴（法政大学大学院政策創造研究科 教授、当学会研究大会企画委員会委員） 特別講演者&パネリスト： 加藤遼（株式会社パソナ JOB HUB ソーシャルイノベーション部長） パネリスト： 辰巳哲子（リクルートワークス研究所主任研究員） 高橋梓（ICC Consultants Australia Pty Ltd ゼネラルマネジャー）	
総会	2022 年 9 月 10（土）	2022 年度一般社団法人日本キャリアデザイン学会 定時社員総会 －支部設置等に関する規程の件、入会推薦人の件、学会誌運用規定・執筆要領改正の件、2021 年度決算承認の件他	大正大学及び Web 会議
ニュースレター	2022 年 9 月 15 日（木）	キャリアデザイン・ニュースレター第 216 号	
ニュースレター	2022 年 10 月 17 日（月）	キャリアデザイン・ニュースレター第 217 号	
マガジン	2022 年 10 月 22 日（土）	キャリアデザインマガジン第 162 号	
研究大会企画委員会	2022 年 11 月 6 日（日）	2022 年度第 1 回研究大会企画委員会 －第 18 回大会振り返り、第 19 回大会に向けた体制、第 19 回大会概要他	Web 会議
広報委員会	2022 年 11 月 14 日（月）	2022 年度第 1 回広報委員会 －広報委員会内規（案）の件、特派員の件、研究大会自由論題セッションの広報の件、その他	Web 会議
ニュースレター	2022 年 11 月 15 日（火）	キャリアデザイン・ニュースレター第 218 号	
キャリア研究・政策・国際交流委員会	2022 年 11 月 20 日（日）	2022 年度第 1 回キャリア研究・政策・国際交流委員会 －「キャリアの本棚」の企画の件、秩父イベント検討の件	Web 会議

研究大会企画委員会	2022 年 12 月 4 日（日）	2022 年度第 2 回研究大会企画委員会 ーハイフレックスでの開催を前提とした大会参加方式（案）の確定、発表時間等の変更の件、大会統一テーマの件他	Web 会議
研究会企画委員会	2022 年 12 月 6 日（火）	2022 年度第 1 回研究会企画委員会 ー今期のキャリアデザインライブ企画の件、ホームページ改訂の件	Web 会議
研究・実践力向上セミナー	2022 年 12 月 8 日（木）	第 2 回 研究・実践力向上セミナー テーマ：教育効果の測り方 ー論文「自然実験によるキャリア教育の効果測定」の投稿プロセス ファシリテーター：梅崎修（法政大学キャリアデザイン学部教授、当学会研究組織委員会委員長） 報告者：平尾智隆（摂南大学 経済学部）	オンライン
ニュースレター	2022 年 12 月 15 日（木）	キャリアデザイン・ニュースレター第 219 号	
関西支部研究会	2022 年 12 月 18 日（日）	関西支部第 26 回研究会 テーマ：「ダイバーシティ&インクルージョンの実践」 ゲスト： 山崎有香（三洋化成工業株式会社） 総務本部 副本部長 兼 CSR 推進部部長） 古部祐子（株式会社村田製作所 人材開発部 キャリア・組織開発課） 泉恵理（調達統括部調達企画管理部調達企画課）	オープンイノベーションカフェ KOIN 及びオンライン
中京支部研究会	2022 年 12 月 18 日（日）	第 20 回中京支部研究会 テーマ：地方公務員のキャリア課題とその特殊性～実践現場から 発表者： 柴田朋子（中京支部役員、キャリアコンサルタント・研修講師）	名古屋大学及びオンライン
中京支部	2022 年 12 月 18 日（日）	2022 年度第 1 回中京支部役員会 ー今期の研究会開催について、研究会会場の件、役員会の構成の件他	名古屋大学
マガジン	2022 年 12 月 25 日（日）	キャリアデザインマガジン第 163 号	
ニュースレター	2023 年 1 月 13 日（金）	キャリアデザイン・ニュースレター第 220 号	

理事会	2023 年 1 月 29 日（日）	2022 年度第 2 回理事会 -2023 年度（第 19 回）研究大会・奨励研究募集要項の件、役員予定者候補者推薦委員会（推薦委員会）の件他	産業能率大学及び Web 会議
研究組織委員会	2023 年 2 月 7 日（火）	2022 年度第 1 回研究組織委員会 -募集の方法、利用マニュアルの件、会員特典の件他	Web 会議
研究会企画委員会	2023 年 2 月 12 日（日）	2022 年度第 2 回研究会企画委員会 -キャリアデザインライブ企画の件、今後の運営について	Web 会議
ニュースレター	2023 年 2 月 15 日（水）	キャリアデザイン・ニュースレター第 221 号	
関西支部	2023 年 2 月 20 日（月）	2022 年度第 1 回関西支部役員会 -第 10 回研究大会の件、支部研究会の件、キャリアデザインライブの共催の件他	Web 会議
マガジン	2023 年 2 月 20 日（月）	キャリアデザインマガジン第 164 号	
キャリアデザインライブ	2023 年 2 月 20 日（月）	2023 年第 1 回キャリアデザインライブ！ テーマ：ともに働き、ともに学ぶ社会に向けて -障害者雇用の可能性と未来- 登壇者： 望月賢一（ソニーグループ株式会社） 大庭薫（ソニー希望・光株式会社 代表取締役） 聞き手： 阿部潤子（Connecting Point、当学会研究会企画委員会委員）	法政大学及びオンライン
研究誌編集委員会	2023 年 2 月 21 日（火）	2022 年度第 1 回研究誌編集委員会 -キャリアデザイン研究を巡る近年の変更事項について、『キャリアデザイン研究』の今後について他	Web 会議
研究・実践力向上セミナー	2023 年 2 月 22 日（水）	第 3 回 研究・実践力向上セミナー テーマ：質的研究法によるインターンシップの効果測定-TEA 分析によるキャリア発達の検討- 報告者：上西智子（明治大学情報コミュニケーション研究科博士後期課程、立教大学観光学部特任准教授）	オンライン

		ファシリテーター：田澤実（法政大学、当学会事務局次長、当学会研究誌編集委員会委員長、当学会研究組織委員会副委員長）	
キャリア研究・政策・国際交流委員会	2023年2月25日（土）	キャリア研究・政策・国際交流委員会企画 テーマ：キャリアの本棚 登壇者： 梅崎修（法政大学、当学会副会長、キャリア研究・政策・国際交流委員会委員長、研究組織委員会委員長）	オンライン
関西支部研究大会	2023年3月4日（土）	関西支部第10回研究大会 テーマ：Internship on Campus 実践の成果と課題の検討 （1）テーマ：Internship on Campus 実践の成果と課題の検討 松川晴美（同志社大学 嘱託講師） 浮村真弓（同志社大学 嘱託講師） 鶴見香織（同志社大学 嘱託講師） 三吉 勉（同志社大学 助教） 浦坂純子（同志社大学 教授） （2）テーマ：キャリア成熟過程モデルによる新たなキャリア支援の展開 吉田尚子（追手門学院大学博士後期課程修了生、元大学職員、キャリアコンサルタント） （3）テーマ：「将来に希望を持ってない青年」の主観的世界観 -希望の持続と変容を明らかにする質的分析手法の検討- 坂本憲治（福岡大学人文学部 准教授）	近畿大学
理事・監事予定者候補者推薦委員会	2023年3月4日（土）	委員長の互選、役員予定者候補者の選出	Web 会議
中京支部研究会	2023年3月5日（日）	第21回中京支部研究会 テーマ：初等中等教育機関へのキャリアコンサルタント常勤のススメ ～名古屋市の事例考察から～ 発表者：	名古屋学院大学及びオンライン

		深谷潤一（中京支部役員、I C D S） 渡邊江李賀（有松中学校キャリアナビゲーター、 I C D S）	
中京支部	2023 年 3 月 5 日（日）	2022 年度第 2 回中京支部役員会 -今後の研究会開催の件、研究会会場の件、次期の 体制の件	名古屋学院 大学
選挙管理委員会	2023 年 3 月 12 日（日）	第 1 回選挙管理委員会 委員長選出の件、選挙日程の件他	Web 会議
ニュースレター	2023 年 3 月 15 日（水）	キャリアデザイン・ニュースレター第 222 号	
広報委員会	2023 年 3 月 20 日（月）	2022 年度第 2 回広報委員会 -2 月理事会の決定を受けた広報委員会内規の改定 について、代議員・役員選挙の日程と広報対応に ついて他	Web 会議
理事会	2023 年 3 月 21 日（火）	2022 年度第 3 回理事会 -2023 年度業務委託先の件、役員予定者選挙被選挙 権の例外措置の件、選挙日程の件他	産業能率大 学及び Web 会議
ニュースレター	2023 年 3 月 27 日（月）	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
理事会	2023 年 4 月 4 日（火）	『キャリアデザイン研究』無料配布の告知（5 月 12 日締切）	学会 HP
ニュースレター	2023 年 4 月 4 日（火）	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
キャリアデザイ ンライブ	2023 年 4 月 7 日（金）	2023 年第 2 回キャリアデザインライブ！ テーマ：感受性が強く、敏感な人たち。 HSP（ハイリー・センシティブ・パーソン）について 考える 登壇者：皆川公美子 （株式会社サステナミー代表。国家資格キャリア コンサルタント、ギャラップ認定ストレングスコー ーチ、TRE 国際認定プロバイダー） 聞き手：田中潤（株式会社 J ストリーム、当学会 副会長・研究会企画委員会委員長）	法政大学及 びオンライ ン
ニュースレター	2023 年 4 月 14 日（金）	キャリアデザイン・ニュースレター第 223 号	
マガジン	2023 年 4 月 20 日（木）	キャリアデザインマガジン第 165 号	
ニュースレター	2023 年 4 月 21 日（金）	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
選挙管理委員会	2023 年 4 月 21 日（金）	2023-24 年度役員予定者選挙および代議員選挙公示	学会 HP
選挙管理委員会	2023 年 4 月 22 日（土）	第 2 回選挙管理委員会	Web 会議

		役員等候補者推薦委員会からの推薦書受領、代議員候補者の無作為選出、代議員候補者への承諾依頼の件等	
ニュースレター	2023 年 4 月 24 日 (月)	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号 その 1	
ニュースレター	2023 年 4 月 24 日 (月)	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号 その 2	
ニュースレター	2023 年 4 月 28 日 (金)	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
ニュースレター	2023 年 5 月 15 日 (月)	キャリアデザイン・ニュースレター第 224 号	
広報委員会	2023 年 5 月 24 日 (水)	2022 年度第 3 回広報委員会 -企業人交流会の件、来期広報委員会の活動および体制の件他	Web 会議
研究大会企画委員会	2023 年 5 月 27 日 (土)	2022 年度第 3 回研究大会企画委員会 -シンポジウムの件、研究発表審査の件、運営の件、抄録・プログラムの件他	Web 会議
選挙管理委員会	2023 年 6 月 10 日 (土)	第 3 回選挙管理委員会 代議員候補者の承諾確認 (4/24~5/19)、自薦候補者の審査 (自薦なし)	Web 会議
選挙管理委員会	2023 年 6 月 12 日 (月)	役員予定者選挙・代議員選挙投票 (2023 年 7 月 7 日 17 時締切)	
ニュースレター	2023 年 6 月 12 日 (月)	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
ニュースレター	2023 年 6 月 13 日 (火)	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
ニュースレター	2023 年 6 月 15 日 (木)	キャリアデザイン・ニュースレター第 225 号	
マガジン	2023 年 6 月 20 日 (火)	キャリアデザインマガジン第 166 号	
関西支部	2023 年 6 月 21 日 (水)	2022 年度第 2 回関西支部役員会 -2023 年度新体制の件、キャリアデザインライブ共催の件、第 27 回支部研究会の件他	Web 会議
キャリアデザインライブ	2023 年 6 月 30 日 (金)	2023 年第 3 回キャリアデザインライブ！ テーマ：オーケストラが創造（つく）る音楽ワークショップを体験しよう！ -多様な学びとユニークな発想のありかを求めて ファシリテーター：伊波 睦（ワークショップ・デザイナー/ファシリテーター兼音楽の森アドバイザー） 企画・聞き手：坂口 慶樹（当学会研究会企画委員会委員）	西荻地域区民センター
中京支部	2023 年 7 月 2 日 (日)	2022 年度第 3 回中京支部役員会	名古屋大学

		-次期体制の件、次年度の事業計画の件	
中京支部研究会	2023 年 7 月 2 日（日）	第 22 回中京支部研究会 テーマ：自律的なキャリア形成と学びのあり方について考える -コンサルタントの事例を通じて 発表者：白澤朋佳 (PwC コンサルティング合同会社 シニアマネージャー)	名古屋大学 及びオンライン
マガジン	2023 年 7 月 2 日（日）	キャリアデザインマガジン臨時号	
ニュースレター	2023 年 7 月 3 日（月）	キャリアデザイン・ニュースレター臨時号	
選挙管理委員会	2023 年 7 月 9 日（日）	第 4 回選挙管理委員会 開票、選挙結果の確定	Web 会議
選挙管理委員会	2023 年 7 月 10 日（月）	代議員選挙、役員予定者選挙結果の公示	学会 HP
ニュースレター	2023 年 7 月 14 日（金）	キャリアデザイン・ニュースレター第 226 号	
研究大会企画委員会	2023 年 7 月 16 日（日）	2022 年度第 4 回研究大会企画委員会 -シンポジウムの件、運営の件、抄録・プログラムの件他	Web 会議
キャリアデザインライブ	2023 年 7 月 22 日（土）	2023 年第 4 回キャリアデザインライブ！ 関西支部共催 テーマ：不登校児母親のコミュニケーションスキル支援事業としての社会的起業 -当事者の問題意識から NPO 活動の展開へ- 登壇者：谷田ひろみ(NPO 法人ファミリーコミュニケーション・ラボ代表) 聞き手：細萱伸子（上智大学経済学部、当学会研究会企画委員会委員）	公益財団法人 関西生産性本部及びオンライン
広報委員会	2023 年 7 月 28 日（金）	2022 年度第 4 回広報委員会 -来期広報委員会の体制の件、企業人交流会の件、今後の広報対応の件他	Web 会議
企業人交流会	2023 年 7 月 29 日（土）	第 5 回企業人交流会 テーマ：企業におけるアフターコロナの現状を語ろう！ -わたしたちの働き方・キャリアに今どんな変化が起きているのか？ ファシリテーター：	D0-Z0 赤坂サカス店

		松岡猛（NEC ライフキャリア(株)、当学会広報委員会副委員長）	
理事会	2023 年 7 月 30 日（日）	2022 年度第 4 回理事会 2023 年度事業計画及び予算の件、定款変更の件、社員総会招集の件他	東京大学及び Web 会議

敬称略。名称・役職等は開催当時。

《資料 3》2022 年度 事業報告

1. 会員数の推移

会員数は、昨年度より 55 名増加し、その結果 1,209 名（昨年比 4.8%増）となった。特に正会員数について、45 名の顕著な増加がみられた。今後は、入会者とならんで、退会者に関する状況などについても注視していく。ちなみに 2022 年度については、99 名の新規入会者（団体 4 件を含む）があったのに対し、退会者（団体 2 件、3 年以上未納退会者 20 名）が 44 名となった。

会員状況

※単位：名（2023年7月31日現在）

会員種別	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	前年比
正会員	1,071	967	935	925	938	983	+45
正会員（院生）	150	121	127	107	104	114	+10
学生会員	19	11	10	11	7	5	△ 2
賛助会員（個人）	130	95	87	82	79	78	△ 1
賛助会員（団体）	37	36	36	27	26	29	+3
合計	1,407	1,230	1,195	1,152	1,154	1,209	+55

2. 当学会の問題意識と基本的な考え方

今日、学校、会社、NPO などの事業組織の他、政府や自治体の行政組織などにおいて、「キャリア」という言葉は広汎に使われるに至っている。だが、その意味するところや目指すところは必ずしも同じではなく、意思の不統一や実践上の混乱なども垣間見られる現状も、いまだ少なからずあるように見受けられる。

日本キャリアデザイン学会は、特定の学問分野を超えた学際的な学会であるだけでなく、キャリアに関する学術研究と現場実務との相互交流及び相互作用を重視する、唯一無二の学会である。その特徴を活かし、キャリアおよびキャリアデザインにまつわる状況の整理と新たな発見を絶えず行い、あわせて現場実態の包括的な把握や理論的・実証的検証を行う。それにより、キャリアデザインによる人生や職業生活における生きがいの獲得や充実感の向上の方策を広く提示し、普及に向けた理解増進や環境整備に取り組んでいく。

これらの活動を通じて、キャリアに関する基礎研究とその重要な成果の共有と普及を広く行っていく。

3. 今期および中期の活動計画

2022 年度は、新型コロナウイルスの感染も徐々に終息に近づきつつあるなか、研究大会企画委員会をはじめとする学会関係者の献身的な努力と工夫により、大正大学をホスト校として研究大会を前年度に続き、オンライン形式で開催した。その結果、今回も多数の参加者を得、活発な議論が行われるなど、学会の新たなスタイルが定着する一年となった。その

ほか、キャリアデザインライブや支部活動なども、オンラインまたはハイブリッドなどの形式も活用しながら、着実に正常化に戻りつつある。学会誌の刊行や広報活動なども、安定的に運営が進んでいる。

また理事長の運営方針として、2021 年度と 2022 年度は学会が今後無理なく続いていくための足場を固める 2 年間として位置づけられてきた。「必要最小限の業務への選択と集中」「学会存続を最優先した業務見直し」「委員会等業務のマニュアル化推進」「学会員の多様性確保に向けた検討」「学会の地域連携・支部活動の充実」「学会活動におけるオンライン活用の定着」「学会役員「懇談会」による自由闊達な議論」の活動方針が示され、理事会にて承認の上、それらに応じた諸活動が 2022 年度にも推進された。

これらにあわせ、これまでの成果も踏まえつつ、キャリアデザインの「創造的相互作用」を引き続き深化させるとともに、研究活動、社会活動、地域活動、企業活動などのさらなる発展に資する成果の獲得を活動目標に、委員会・支部活動など、それぞれの特徴を活かし展開していく。

なお、これまで学会事務局として長く学会活動を支えていただいていた株式会社文伸との業務委託契約が、2022 年度をもって終了することとなった。株式会社文伸には長きにわたり、たいへんお世話になった。心から御礼申しあげる次第である。

あわせて今年度中、会員専用ホームページ上で、会員自ら会員情報の確認・変更が可能となったり、退会申請、領収書の発行・印刷なども可能となるシステム開発を行った。会費のクレジット決済導入など、会員の利便性向上につとめたのも、2022 年度の事業成果である。

今後も、2023 年度からの新理事長のもと、学会の持続可能性の向上のため、着実に活動が進展することが期待される。

4. 研究組織委員会活動

(1) 研究組織委員会の活動

以下のとおり、各委員長を中心として委員会活動を推進した。

① 研究組織委員会

梅崎修委員長のもと、研究組織委員会では、学会の持続的発展を実現するための諸方策のあり方について、前年度に引き続き多角的・包括的な検討を行った。まず、2022 年度も大会オンライン開催することができた。また 2022 年度は、キャリアデザインのライブ、中部部会、関西部会での活動が行われ、オンラインだけでなく対面で開催された。研究組織委員会における「セミナーセッション」、キャリア研究・政策・国際交流委員会による「キャリアの本棚」も開催されている。また、会員交流の場である「企業人交流会」も開催された。以上のようなイベント支援のため、研究組織委員会としては、昨年度、作成したオンライン・マニュアルに続けて、学会紹介パンフレット、学会イベントの募集マニュアルを作成した。

② 研究大会企画委員会

坂爪洋美委員長のもと、第 19 回研究大会（開催校：九州産業大学）をハイフレックス形式での開催とし、大会テーマ（「地域発！暮らし方のシフトチェンジ：根ざす・越える・繋げる」）、基調講演・シンポジウムを含む大会全体の基本方針を決定した。また、大会運営の負担軽減を目的として、大会運営業務の簡素化を図った。なお、学会奨励研究は実施方法の再検討等過程にあることから、2023 年度は実施を見送った。

③ 研究会企画委員会

田中潤委員長のもと、オンライン 1 回、リアル 1 回、ハイブリット 2 回と様々な形態での開催を行った。うち 1 回は、初めての試みとして関西支部との共催にて大阪で開催した。開催に際しては、学会新体制を視野に入れ、運営の内製化を少しずつ進めてきた。オンライン開催では、日本中の学会員に活動参加の機会を提供できている。また、久しぶりに開催できたリアル開催回は、リアルならではの熱量溢れる場となった。

④ 研究誌編集委員会

田澤実委員長のもと、『キャリアデザイン研究』（Vol. 19）について、36 本の新規投稿があった。2023 年 6 月 21 日時点の内訳は、採択 1 本（最終修正原稿待ち（A 判定）を含む）、審査中 22 本、不採択 13 本（査読後の投稿者による辞退を含む）である。また、デジタル化を進めるために J-STAGE に対して pdf 公開のための手続きを完了し、Vol. 18 より『キャリアデザイン研究』に掲載された論文は pdf での閲覧が可能になった。なお、投稿区分の明確化をするために執筆要領の第 15 条を改正した。これに伴い、「論文」として投稿された原稿のみ、査読プロセスで投稿区分の変更（すなわち、論文から研究ノートへの変更）を認め、「研究ノート」「資料」「事例紹介」については投稿時の投稿区分のみで査読を続ける体制を整えた。

⑤ 広報委員会

荻野勝彦委員長のもと、キャリアデザイン・ニュースレターを毎月発行したほか、必要に応じて臨時号を 10 回発行した。社会連携活動の一環として 3 人の地方在住の特派員を新たに置き、ニュースレターに【会員エッセイ「地域とキャリア」】を執筆・掲載した（年度内 2 回）。キャリアデザイマガジンを隔月発行し、購読数は 2022 年 6 月号の 3,454 から 2023 年 6 月号の 3,511 と 2%増となった。Facebook を活用した広報については、引き続き活発な投稿を実施した結果、リーチ数は 2021 年度の 7,096 から 2022 年度は 9,228（6/27 まで）と大幅増となった。また、社会連携活動の一環としての第 5 回企業人交流会を、コロナ禍以降はじめて 7 月に対面で実施した。

⑤ キャリア研究・政策・国際交流委員会

梅崎修委員長のもと、2021 年度に企画された、キャリア政策を議論する「キャリアのアゴラ」に続けて、基礎的な研究の議論を行う文献紹介の「キャリアの本棚」を開催した。他イベントとは異なる、政策や基礎文献という研究視点のイベントである。また、「キャリアの本棚」に関しては、少人数で比較的に簡単に準備できるという特性があるので、地域イベントとして企画された。

⑦ 20 周年記念事業委員会

浅野浩美委員長のもと、20 周年（2024 年度）の記念事業実施に向けて、法人化後の学会の目指す方向を踏まえつつ、記念事業の実施について検討した。

(2) 地域活動

各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会を検討し、オンライン並びにハイフレックス型で実施した。

① 関西支部

松高政支部長のもと、関西支部アクションプランに基づき、第 25 回支部研究会（2022 年 7 月 27 日）、第 26 回支部研究会（2022 年 12 月 18 日）に開催した。また第 10 回支部研究大会を 2023 年 3 月 4 日に近畿大学にて対面で開催した。支部役員会を 2 回開催し、支部活動方針等を検討した。

② 中京支部

金井篤子支部長のもと、中京支部のアクションプランに基づき、三重県を関西支部と中京支部の両方に登録されていた三重県を中京支部の登録とした。また、コロナ後の研究会の形として、ハイフレックス型の研究会を計 3 回（12 月，3 月，7 月）開催した。

5. その他の活動

① 地域連携・支部活動推進本部

金井篤子リーダーのもと、地域連携・支部活動推進本部は、日本の隅々までキャリアの概念を伝えていくという学会基本方針に基づき、地域活性化を進めたい。という、ミッションのもと、2 年間の時限で、2021 年度から 2022 年度にかけて新たに設置された。

具体的課題として、

1. 学会の会員サービス活動として首都圏と中京・関西支部以外の地域のサービス提供。
2. 中京支部と関西支部がどのように活動していくのかの検討。
3. 三重県問題（中京・関西支部の二重登録）の解決。→ 21 年度に対応済。
4. 地域連携に必要な会員名簿の整備。→ 21 年度に対応済。

がある。

2022 年度は、関西支部、中京支部はそれぞれコロナ後の活動を再開した。地域連携活動についてはコロナを含む諸事情により一旦活動を停止したが、次期に向けて引継ぎを行った。

③ 学会運営体制整備本部

荒井明リーダーのもと、持続的発展の基盤を確立しうる組織体制の構築を目指し、名簿管理構築システム WG を立ち上げ 4 回の MTG を実施しシステム構築に向けた準備を実施した。また、学会運営体制整備本部として 3 回の MTG を実施し、現状の業務の洗い出し、あるべき姿の検討、具体的な業務の見直しに伴う組織体制の提案、役割分担等の見直しを行った。

6. 決算

コロナ感染拡大に伴い新たなサービスを実施しながら、第 18 回研究大会は、大正大学を基地局としてオンライン形式にて開催、研究会等はコロナ感染の収束化を願いつつ、ハイブリッド形式にて実施した。大会開催費用、理事会のオンライン開催による交通費の削減や 5 年間の積立による次年度開催の 20 周年記念事業に見立てる資金は、十二分に準備が整い、健全な財務体質化を構築してきた。

また、学会の持続的発展の基盤の構築を目指し、効率的かつ簡易化した個人情報管理システムに投資した。事務局委託先の変更に伴い、研究誌『キャリアデザイン研究』バックナンバー（在庫分）の希望者への送付、10 周年記念誌の会員への無料配布、選挙関連の業務委託等に係る必要経費を支出した。

《資料 4》

2023 年 9 月 2 日

社員総会
代議員各位

研究誌に関する変更の件

理事長

日本キャリアデザイン学会の学会誌『キャリアデザイン研究』は、2023 年秋に第 19 巻の刊行を迎える運びとなった。第 18 巻からは、国立研究開発法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システムである J-Stage への登録が開始され、学会の研究成果はより広く社会に発信されている。これまで学会誌刊行にご協力・ご尽力いただいた会員ならびに関係者にあらためて感謝申しあげる次第である。

その上で、今後の学会の財政見通しおよびペーパーレスへの要望の高まり等も勘案し、研究誌編集委員会にも意見照会の上、紙媒体での刊行は第 19 巻をもって終了することとし、第 20 巻以降は電子媒体に移行することを、2023 年 3 月 21 日開催の理事会に提案し、了承を得たところである。

あわせて投稿募集に際し、毎回 30 本以上の論文等が投稿される現状において、一年以内の刊行を安定的に実現していくためには、投稿・査読・編集にかかわる事務作業の効率化が喫緊の課題となっている。そこで 2023 年度より研究誌編集委員会では、国内外の学術雑誌の編集に広く活用されているオンライン投稿査読システム ScholarOne Manuscripts を導入する運びとなった。投稿者には投稿査読システムへの必要事項の入力等を求めることとなるが、学会誌の持続的な運営のため、ご協力をお願いするところである。

くわえて今後は、学会誌の大幅な刷新も計画している。具体的にはより多くの引用を得やすくするために論文・研究ノート等への和文要旨の掲載、投稿要件である未刊行でオリジナルな内容の明確化、研究大会報告等のホームページへの移管等を検討する。

以上を適切に進めていくため、研究誌編集委員会にて、執筆要項と運用規程の改正を行い、理事会の決議を経た上で、投稿募集案内とあわせてすみやかに学会ホームページに掲載する予定である。

研究誌のさらなる発展に向けて、引き続きのご理解をお願いしたい。

以上

【参考】

『キャリアデザイン研究』刷新計画

今後の方向性

- 掲載内容がより引用されるような研究誌
- 編集・投稿・査読等の負担の少ない研究誌
- ホームページ掲載との内容の適切な切り分け

スケジュール

- 23年9月理事会にて執筆要領・運用規程等の改正について承認を得る。
- 23年10月にホームページ・ニュースレターにて改正記事を公開する。
- 第20巻からの投稿に改正内容を原則適用する。

主な改正のポイント

- オンライン投稿システム「スカラーワン」の導入
- 和文要旨の導入（引用対策・要約掲載の範囲・英文要旨の取り扱い）
- 参考文献の掲載事例の導入（書籍/論文、和文/英文）
- ディスカッションペーパー等の取り扱い
- 研究大会報告等のホームページへの移管
- テンプレート・査読依頼文の改定
- J-Stage 掲載作業の外部委託

その他

- 編集委員会と事務局体制の確認
- 電子書籍化への必要な対応
- 編集委員の新規追加・負担軽減

《資料 5》

2023 年 9 月 2 日

学会所在地ならびに事務局の変更について

2023 年度より学会所在地が、以下のとおり、変更となりました。

一般社団法人日本キャリアデザイン学会
〒162-0041
東京都新宿区早稲田鶴巻町 518 司ビル 3F
国際ビジネス研究センター内
TEL. 03-5273-0473 FAX. 03-3203-5964
E-mail. info@career-design.org

所在地の変更にあわせて、2023 年 8 月 1 日より、学会事務局は株式会社文伸より、株式会社国際ビジネス研究センターに変更となっています。

《資料6》第1号議案 2022年度決算承認の件

一般社団法人 日本キャリアデザイン学会

貸 借 対 照 表

2023年 7月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金		(2022年7月31日)	
現金	26,549	16,494	10,055
普通預金(本口)	19,488,935	19,769,012	-280,077
普通預金(大会口)	1,604,587	522,691	1,081,896
普通預金(関西支部)	43,672	74,032	-30,360
普通預金(中京支部)	206,826	174,040	32,786
郵便貯金	78,977	78,977	0
現金預金合計	21,449,546	20,635,246	814,300
流動資産合計	21,449,546	20,635,246	814,300
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産合計	0	0	0
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	2,930,717	2,382,900	547,817
無形固定資産合計	2,930,717	2,382,900	547,817
固定資産合計	2,930,717	2,382,900	547,817
資産合計	24,380,263	23,018,146	1,362,117
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	140,000	31,470	108,530
預り金	7,147	2,042	5,105
流動負債合計	147,147	33,512	113,635
負債合計	147,147	33,512	113,635
III 正味財産の部			
1. 正味財産	24,233,116	22,984,634	1,248,482
正味財産合計	24,233,116	22,984,634	1,248,482
負債及び正味財産合計	24,380,263	23,018,146	1,362,117

一般社団法人 日本キャリアデザイン学会

正味財産増減計算書

2022年8月1日から2023年7月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
会費収入	10,103,062	10,232,700	-129,638	
大会会費収入	1,218,000	936,000	282,000	
研究会参加費収入	0	0	0	
関西支部収入	112,000	8,000	104,000	
中京支部収入	57,000	15,000	42,000	
地域活動収入	0	0	0	
研究誌等収入	144,925	261,600	-116,675	
協賛金収入	0	100,000	-100,000	
寄附金収入	0	0	0	
その他の事業収入	0	0	0	
受取利息	143	121	22	
雑収益	1	0	1	
経常収益計	11,635,131	11,553,421	81,710	
(2) 経常費用				
大会関連支出	1,102,213	1,377,693	-275,480	
関西支部支出	100,360	24,000	76,360	
中京支部支出	36,214	0	36,214	
地域活動費	0	0	0	
業務委託費	3,520,000	3,163,416	356,584	事務局委託費、コンサルティング料等
広告宣伝費	0	0	0	
研究会費	0	0	0	
旅費交通費	337,051	8,074	328,977	
通信費	1,476,538	1,333,095	143,443	ホームページ管理等、メール配信、会員への送付
諸謝金	264,504	201,346	63,158	講師謝金
会合費	0	0	0	
消耗品費	150,566	143,254	7,312	封筒代、WEB選挙システム一式
印刷費	1,887,600	1,558,700	328,900	研究誌vol.18印刷代等
租税公課	70,000	81,400	-11,400	法人都民税、市民税
支払手数料	251,500	233,071	18,429	銀行振込手数料等
諸会費	140,000	230,000	-90,000	日本学術協力財団、中央職業能力開発協会
減価償却費	915,183	890,800	24,383	
研究助成金	0	135,806	-135,806	
雑費	134,920	194,310	-59,390	懇親会食事等
経常費用計	10,386,649	9,574,965	811,684	
当期経常増減額	1,248,482	1,978,456	-729,974	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,248,482	1,978,456	-729,974	
一般正味財産期首残高	22,984,634	21,006,178	1,978,456	
一般正味財産期末残高	24,233,116	22,984,634	1,248,482	
II 正味財産期末残高	24,233,116	22,984,634	1,248,482	

前期繰越金	22,984,634
当期収入計	11,635,131
当期支出計	10,386,649
当期収支差額	1,248,482
次期繰越金	24,233,116

附属明細書

重要な固定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の 種 類	期 首 帳簿価額	当 期 増加額	当 期 減少額	当 期 償却額	期 末 帳簿価額
無形固定資産	ソフトウェア	2,382,900	1,463,000	0	915,183	2,930,717
	計	2,382,900	1,463,000	0	915,183	2,930,717

2023年8月22日

監査報告書

一般社団法人日本キャリアデザイン学会

理事長 玄 田 有 史 様

監事 米 倉 浩 伸 ○印

監事 田 中 勝 男 ○印

私たち監事は、2022年8月1日から2023年7月31日までの2022年度における事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

- （１）事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- （２）理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- （３）計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

《資料 7》 第 2 号議案 役員予定者選挙結果の件

2023 年 7 月 9 日

一般社団法人日本キャリアデザイン学会
理事長 玄田 有史 殿

選挙管理委員会委員長 大橋 重子
監事 田中 勝男
監事 米倉 浩伸

以下の通り、役員予定者選挙結果を報告いたします。

1. 選挙概要

投票受付開始	2023 年 6 月 12 日（月）
投票受付締切	2023 年 7 月 7 日（金）
開票	2023 年 7 月 9 日（日）

選挙人資格者	762 名（前回 839 名）
投票者数	370 名（前回 445 名）
投票率	48.6%（前回 53.0%）
うち有効得票	370（前回 445）
うち無効票	0（前回 0）
うち無効投票	0（前回 0）

(五十音順)

理事予定者

	氏名	所属
1	浅野 浩美	事業創造大学院大学 事業創造研究科
2	石山 恒貴	法政大学 大学院政策創造研究科
3	梅崎 修	法政大学 キャリアデザイン学部
4	荻野 勝彦	トヨタ自動車株式会社
5	玄田 有史	東京大学
6	高綱 睦美	国立大学法人 愛知教育大学
7	田中 潤	株式会社Jストリーム
8	長尾 繁樹	成城大学
9	平野 恵子	株式会社文化放送キャリアパートナーズ
10	松岡 猛	NECライフキャリア株式会社
11	三川 俊樹	追手門学院大学 心理学部

監事予定者

	氏名	所属
1	田中 勝男	公認会計士田中勝男事務所
2	米倉 浩伸	米倉HR企画

以上

《資料 8》 第 3 号議案 定款改定の件

一般社団法人日本キャリアデザイン学会定款改定の件

改定趣旨

- ・ 業務委託契約先が、2023 年 8 月 1 日付けをもって、株式会社文伸から、株式会社国際ビジネス研究センターに移行することに伴う改定である。

一般社団法人日本キャリアデザイン学会定款

改定案	現行
(事務所) 第 2 条 当法人は、主たる事務所を東京都 <u>新宿区</u> に置く。	(事務所) 第 2 条 当法人は、主たる事務所を東京都 <u>三鷹市</u> に置く。

改定趣旨

- ・ 賛助会員（団体）の権限について、従前からの取り扱いと整合性のある記載とする。

一般社団法人日本キャリアデザイン学会定款

改定案	現行
(会員の権利及び義務) 第 7 条 (略) 4 正会員 <u>および賛助団体（団体）</u> は別に定める 手続・審査を経た上で、当法人が開催する研 究会等における発表・報告、学会誌・会報への 寄稿をする権利を有する。	(会員の権利及び義務) 第 7 条 (略) 4 正会員は別に定める手続・審査を経た上 で、当法人が開催する研究会等における発表・ 報告、学会誌・会報への寄稿をする権利を有す る。

改定趣旨

- ・ 事務の効率化を図る。

一般社団法人日本キャリアデザイン学会定款

改定案	現行
(事業計画及び収支予算) 第45条 当法人の事業計画及びこれに伴う予算は、<u>毎事業年度の最初の社員総会の前日までに</u>理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。事業計画及びこれに伴う予算を変更する場合も、同様とする。 (略)	(事業計画及び収支予算) 第45条 当法人の事業計画及びこれに伴う予算は、<u>毎事業年度の開始の日の前日までに</u>理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。事業計画及びこれに伴う予算を変更する場合も、同様とする。 (略)

※ 改定にあたっては、付則に、改定日及び一部改定した旨を記載する。

以上

《資料 9》 第 4 号議案会費規程改定の件

改定趣旨

- ・会員の利便性向上を図る。

一般社団法人日本キャリアデザイン学会会費規程

改定案	現行
(会費の納入方法及び納入期限) 第 3 条 正会員、学生会員、賛助会員は、 毎事業年度の会費を、振込又自動引き落とし <u>又クレジットカード決済</u> により、当該年度 の前年度末日までに納入しなければならない。	(会費の納入方法及び納入期限) 第 3 条 正会員、学生会員、賛助会員は、 毎事業年度の会費を、振込又自動引き落とし により、当該年度の前年度末日までに納入 しなければならない。

※ 改定にあたっては、付則に、改定日及び一部改定した旨を記載する。

以上

《資料 10》

20 周年記念事業について

20 周年記念事業委員会

日本キャリアデザイン学会は、2024 年度（2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日）に設立 20 周年を迎える。

20 周年記念事業として、関係の委員会と連携のもと、以下について準備を進める。

実施にあたっては、20 年間すべてを振り返るのではなく、10 周年以降の区切りとして位置づけ、学会の目指す方向を踏まえたものとし、会員の負担増を招かないよう留意する。

1. 学会ホームページの改善・充実（2024 年大会時まで実施）

研究会企画委員会と連携のもと、ホームページを改善・充実を図る。

広報委員会、研究誌編集委員会等と連携のもと、アーカイブの整理についても検討する。関西支部、中京支部と相談の上、支部のページを設けることについて検討し、必要に応じ、設置する。

2. 2024 年研究大会時における過去 10 年間の振り返りイベント（2024 年大会時に実施）

学会誌、大会論文集などをもとに、設立 10 周年以降について、各種イベント、研究（実践報告を含む）などについて、パネルディスカッション形式で振り返り、これまでの成果や今後の課題を考える。研究組織委員会、研究会企画委員会等の協力を得て、準備する。

3. 20 周年記念各種行事の実施

2024 年大会に向け、概ね 2024 年 1 月以降に開催される、研究会企画委員会実施のイベント、支部実施イベント等について、その一部または全部を「20 周年記念イベント」と位置付けて広く展開する。

4. 学会誌『キャリアデザイン研究』の刷新（2024 年大会をはさんで実施）

編集委員会が中心となって、電子化を図るほか、内容のレベルアップを図る。

以上

《資料 11》 2024 年度研究大会・総会の件

開催校：法政大学

日程：2024 年 9 月上旬をめどに調整中

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見校地

最寄り駅からのアクセス

【JR 線】 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

【地下鉄線】 都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10 分

【地下鉄線】 東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

【地下鉄線】 東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10 分

【地下鉄線】 東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10 分

【地下鉄線】 都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10 分

URL: <https://www.hosei.ac.jp/ichigaya/access/>

－お問い合わせ－

一般社団法人日本キャリアデザイン学会

〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町518 司ビル3F

国際ビジネス研究センター内

TEL. 03-5273-0473 FAX. 03-3203-5964

E-mail. info@career-design.org